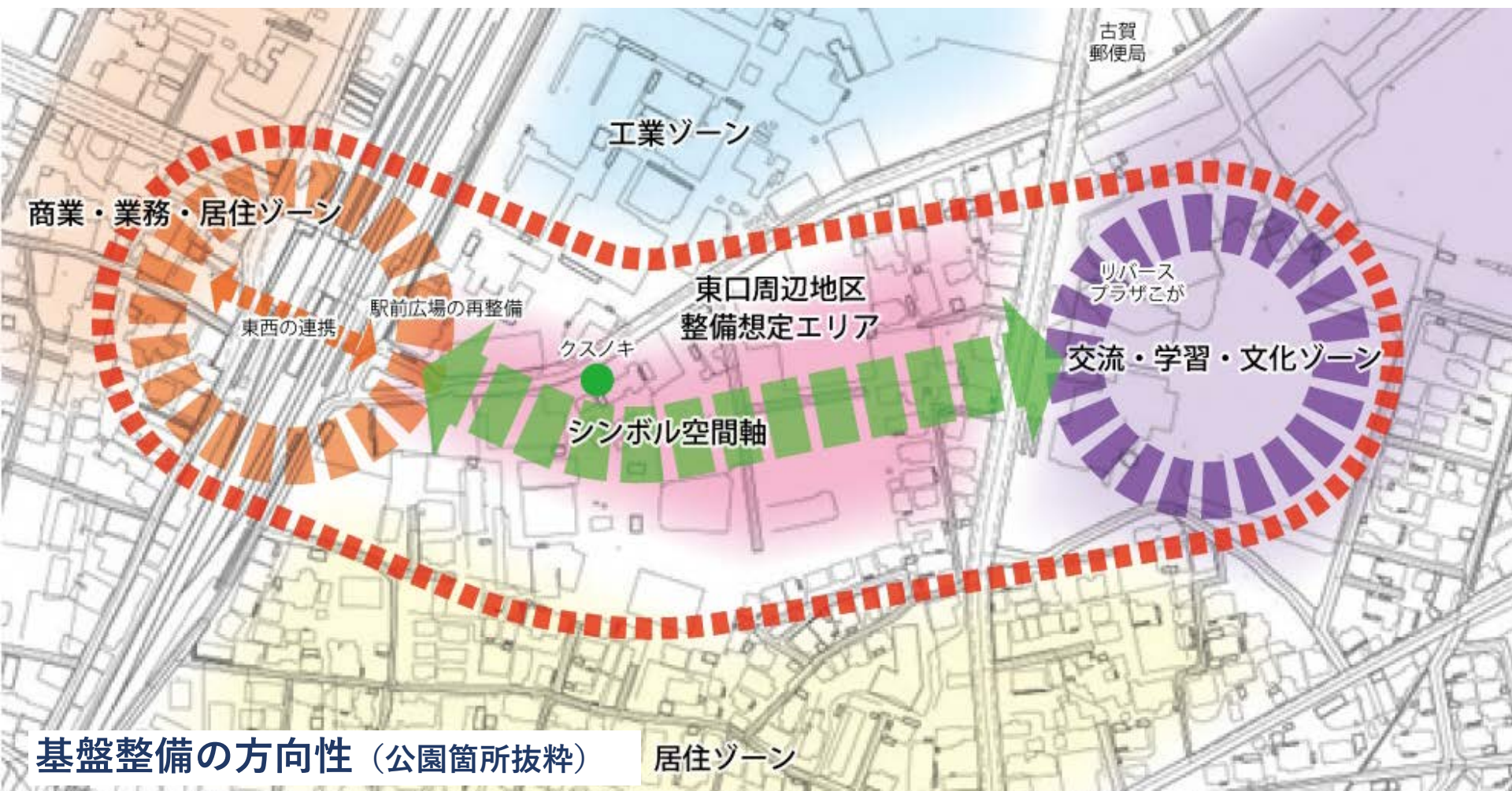


古賀駅東口 公園整備における考え方

土地利用・導入機能の方向性 (JR古賀駅東口周辺地区まちづくり基本計画より)



基盤整備の方向性 (公園箇所抜粋)

①公園によるウォーカブルな都市軸の形成

- ・ 「古賀駅」から「交流・学習・文化ゾーン」までをシンボル空間軸とし、公園によってつなげます。配置にあたっては、既存クスノキの保全化とその活用策を検討します。
- ・ 都市軸となる公園や沿道に賑わいや居場所を配置したウォーカブルな空間を創出します。
- ・ 安心・安全に配慮した公園とします。

古賀駅東口の公園が目指すもの

現状の課題

- ・ まちの顔づくりが必要
- ・ 低未利用地が多く、土地の有効活用が図れていない
- ・ 公園・緑地などのオープンスペースが不足 等

公園等の東口基盤整備

- ・ 東口の顔となるオープンスペース創出による、古賀のイメージ刷新
- ・ 人々が集い、憩うことのできる魅力的な環境の創出
- ・ 開発の呼び水としての、周辺敷地のポテンシャル向上

将来的な駅前の拠点性強化

- ・ ファミリー世帯のマンション導入等による居住人口の増加
- ・ 居住者や来街者へのサービス機能の拡充
- ・ 歩いて暮らせる街、コンパクト＋ネットワークの都市構造の実現

古賀駅東口の公園が目指すもの（他事例と異なる特徴）

- ・ 道路に分断されない、安全でアクセスしやすい公園
- ・ 公園内や隣接敷地の店舗・施設等により、市民の居場所になる公園
- ・ 隣接敷地の建物と公園が一体となった、印象的な空間づくり

広場が道路で分断されていない空間のイメージ



オガールプラザ（岩手県紫波町）



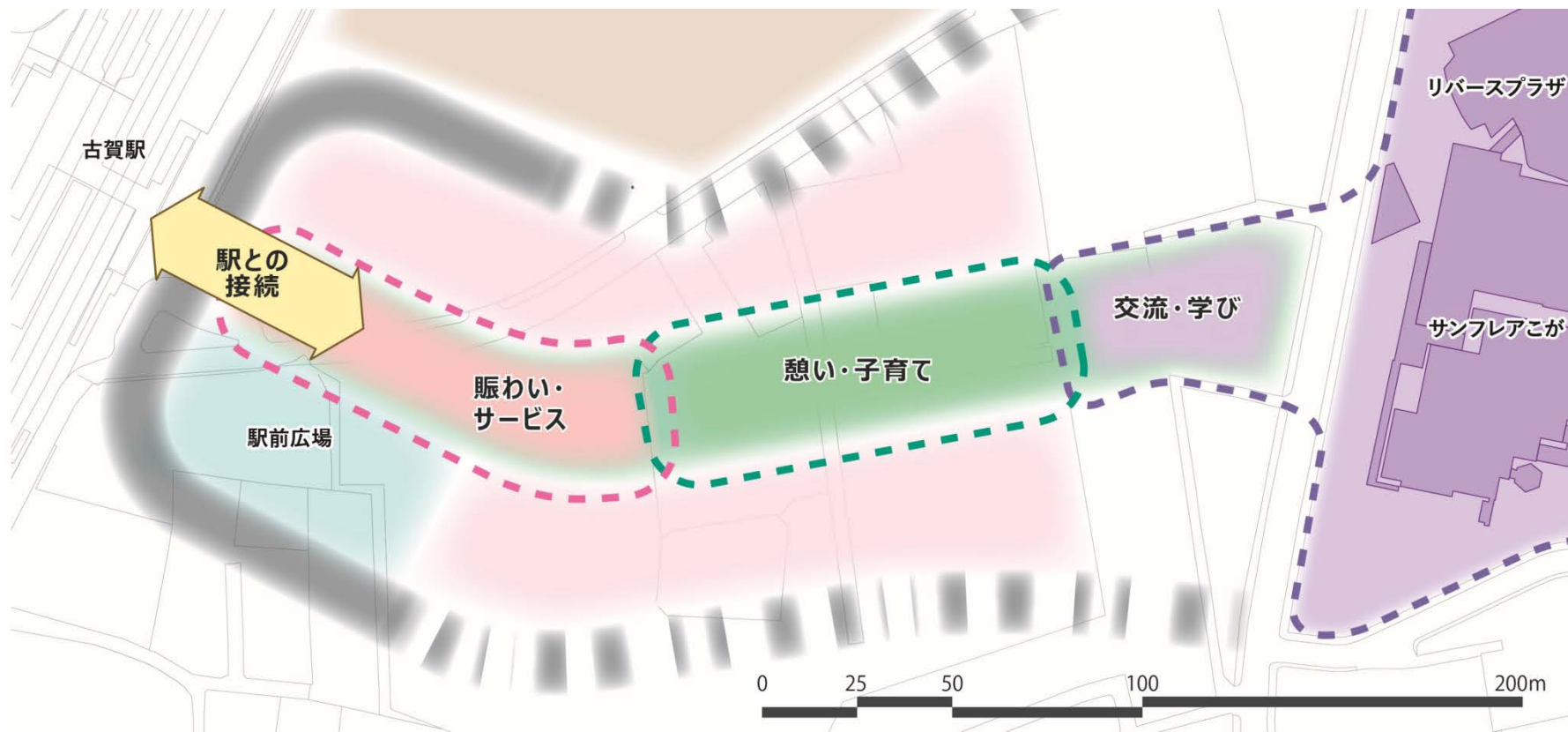
てんしば（大阪市）

1. 場所の特性に応じたゾーニング
2. 隣接敷地と連携した諸機能の配置
3. 周辺とのつながりと公園内の回遊性
4. 災害時の防災拠点としてのオープンスペース
5. 民間活力導入の可能性

公園整備における考え方

1. 場所の特性に応じたゾーニング

- ・東西に長い公園であることを活かし、周辺の市街地特性を強化するゾーニングを目指します。（駅前や交流・学習・文化ゾーン、導入される住宅との関係等）



公園内のゾーニングイメージ

※各ゾーニングのテーマや設えは今後詳細に検討します。

公園整備における考え方

1. 場所の特性に応じたゾーニング

●賑わいエリアのイメージ

- ・日常使いで一息つける場所
- ・多目的なイベントに対応できる空間
- ・駅周辺の店舗との一体的な利用



スポーツ観戦イベントと屋台



周辺住民の集まるマルシェ (出典:UR都市機構)

●憩い・子育てエリアのイメージ

- ・子育て世代を中心に、幅広い年代の人が集い憩う場所
- ・広場とそれに対応した子育て等のイベント実施



親子の遊び場



芝生広場のピクニック利用

●交流・学びエリアのイメージ

- ・交流・学習・文化ゾーンとの一体的な利用
- ・レストランや地域の魅力発信も含めたゆとりある空間



交流関係の屋外活動の場



開演前後に利用できるショップやレストラン

公園整備における考え方

2. 隣接敷地と連携した諸機能の配置

- ・ トイレや店舗等の諸機能の配置は、公園内で完結させず、周辺施設と連携・分担し、効率的な配置や駅前周辺全体のにぎわいづくりにつなげます。
- ・ 駅前全体に必要な機能を整理しながら、公園内の機能の具体的な配置を検討します。



公園内に設けたトイレ併設のカフェ（東京都豊島区）

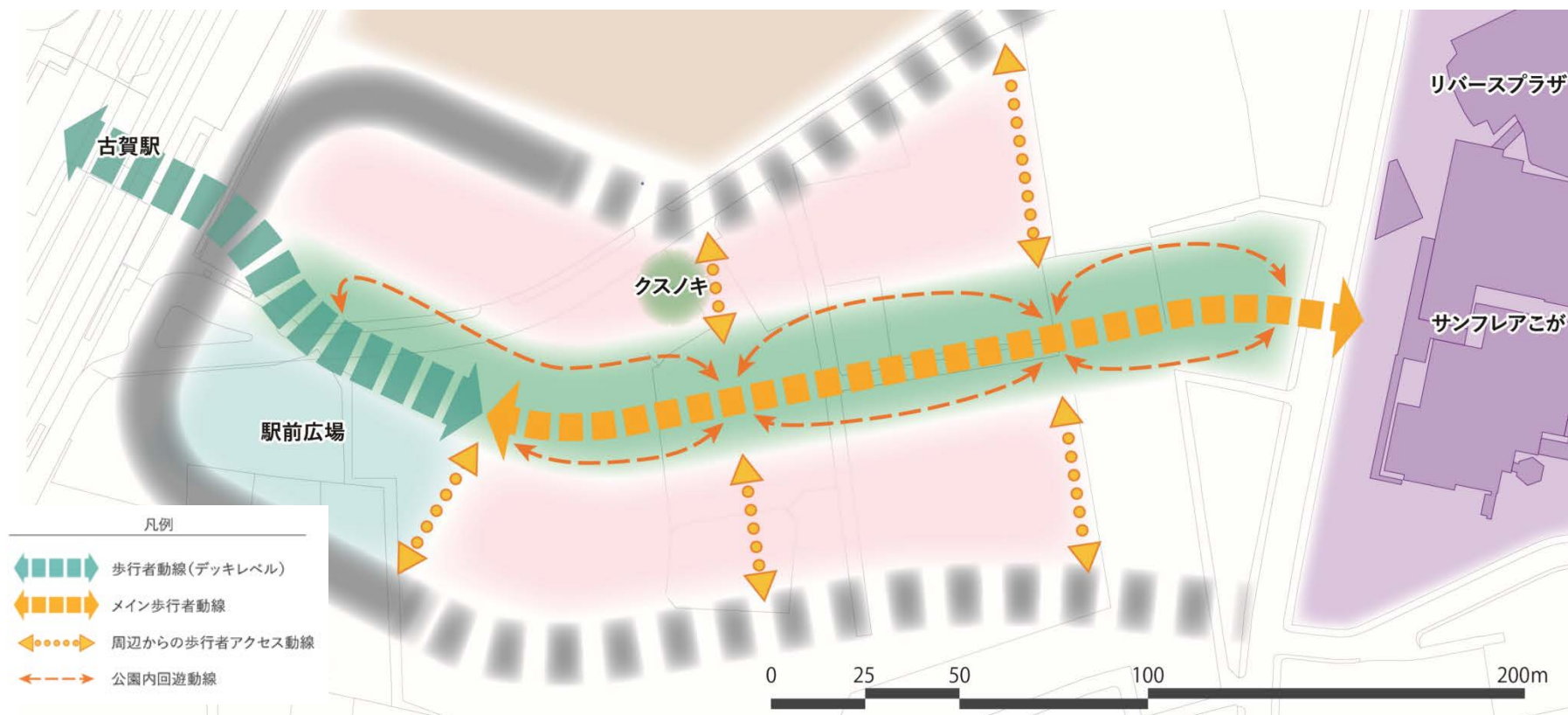


民地側の店舗等と公園を一体的に利用（茨木市）

公園整備における考え方

3. 周辺とのつながりと公園内の回遊性

- ・メインの歩行者動線は、駅から交流・学習・文化ゾーンへと人々を導く軸性を与えます。
- ・ループ道路の南北からも公園にアクセスできる、敷地内歩行者通路の設置を誘導します。
- ・公園内を人々が回遊できる動線を設けます。



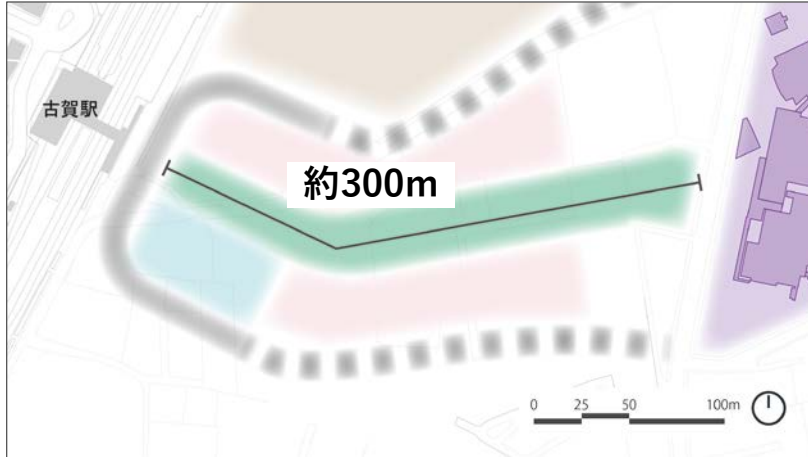
歩行者動線イメージ

※記載のルートはイメージであり、具体的な位置は今後検討します。

公園整備における考え方

[参考]公園等の長さの比較

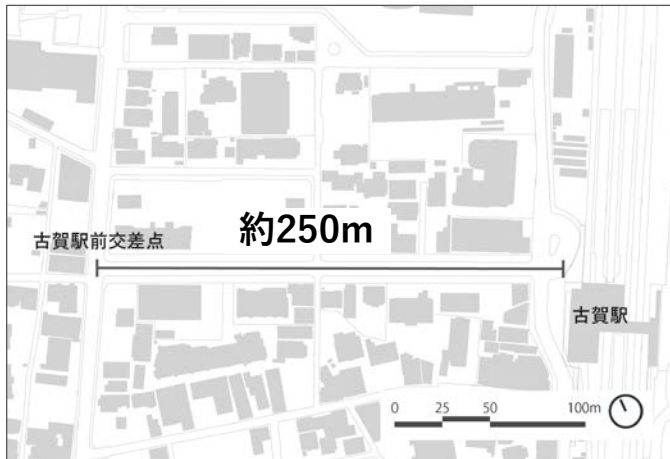
古賀駅東口公園イメージ



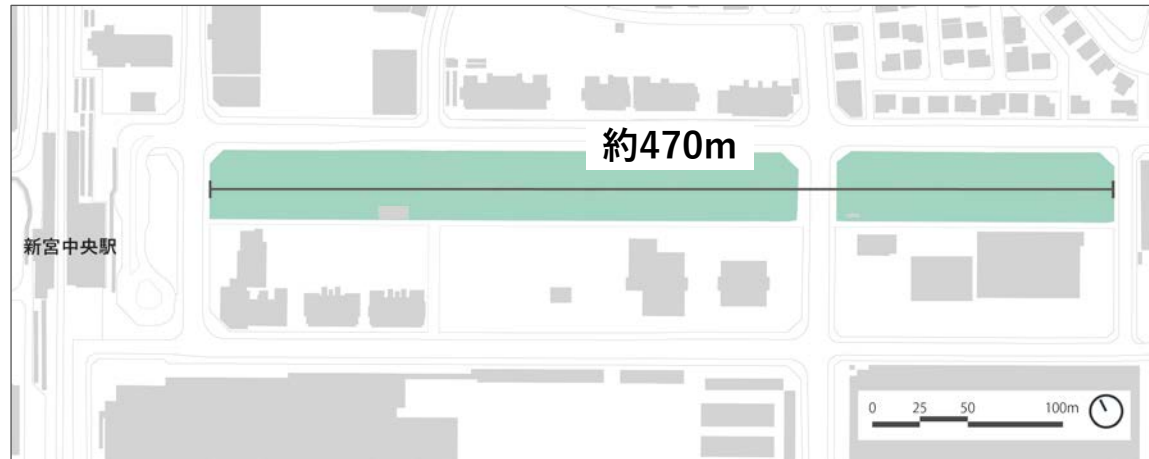
イオンモール福津



古賀駅西口駅前通り



沖田中央公園（新宮中央駅前）



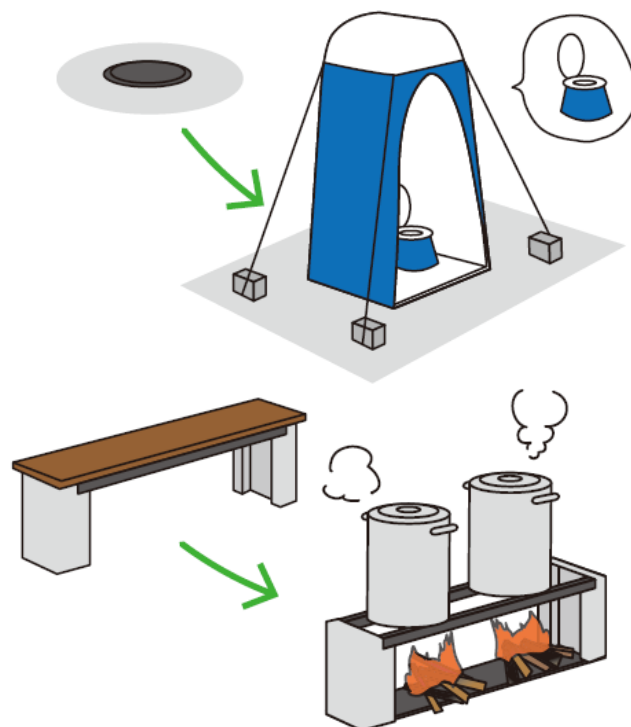
公園整備における考え方

4. 災害時の防災拠点としてのオープンスペース

- 公園は災害時の避難場所や防災拠点となるよう、十分な広さを確保するとともに、防災に役立つ備品や設えを検討します。



災害時の避難場所としての公園



マンホールトイレ、かまどベンチ等の防災備品
(国交省「身近な公園防災使いこなしBOOK」より)

公園整備における考え方

5. 民間活力導入の可能性の検討

- ・ 2017年の都市公園法改正による制度緩和以降、民間による公園の整備・運営が活性化しています。
- ・ 魅力的な公園整備と運営に向けて、古賀駅東口の公園整備においても民間のニーズを把握しながら、Park-PFI制度等の民間活力導入の実現性を検討します。

カフェ、レストランやプレイパーク等、民間活力導入のイメージ



[参考] 民間活力導入の事例

大濠テラス

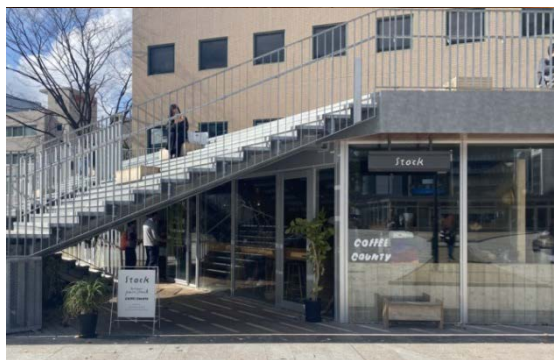
(福岡市・大濠公園／PARK-PFI)



公園の池や緑を眺めながらくつろげる、八女茶をテーマとしたカフェ・ショップ。2階にはレンタルスペースを導入。

HARENO GARDEN

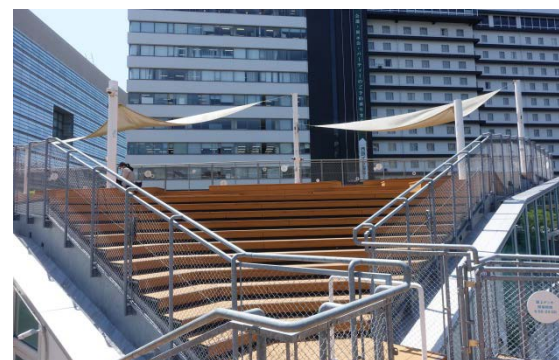
(福岡市・天神中央公園／PARK-PFI)



公園再整備の際に収益施設と併せて旧公会堂貴賓館広場を拡充、樹木などを整備し街に開けた空間を創出。

SHIP'S GARDEN

(福岡市・水上公園／設置管理許可)



福岡市が官民連携で進める天神ビックバンのPJの1つとして民間へ公募を行い整備。川を望む展望デッキを設置。

・Park-PFIは、飲食店、売店等の利用者の利便の向上に資する施設の設置と、その施設から生じる収益を活用してその周辺の園路、広場等の公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を公募により選定する制度です。公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、公園の質の向上、利用者の利便の向上を図る新たな整備・管理手法であり、従来から公園内に民間施設を設ける設置管理許可制度等を拡充したものとと言えます。